

公衆衛生看護技術開発研究会

ワザケン the 22nd ご案内

参加申込方法

- ・案内メールにお示ししたフォームから、もしくは、右のQRコードからお申し込みください。
- ・お申し込みいただいた方にメールで当日のYouTube URLを2日前までにお知らせします。

申し込み期限：2022年8月29日（月）13:00



コロナ禍における人材育成 ～コロナ禍だからこそ大事にしている 新人保健師育成技術～

オンライン
YouTube
開催（無料）

堺市 健康福祉局 健康部
部理事

講師

東口 三容子氏

堺区役所 堺保健福祉総合センター
堺保健センター 次長

西本 夕紀氏

コーディネーター

合田加代子先生

聲高英代先生

(甲南女子大学)

2022年9月3日（土）13:30～15:00

社会の変化に応じて、人々の「生」を衛るために公衆衛生の専門職はその活動を推進し、歴史を刻んできました。

とりわけ、公衆衛生看護を担う保健師は、ゆりかごから墓場まで、あらゆる状態・状況にある人々を対象に、より健康な方向をめざして、様々な活動を展開してきました。公衆衛生看護技術研究会（ワザケン）は、わたしたち保健師の公衆衛生看護技術を可視化し、確認・習得・普及するための教育研究活動を継続しています。保健師の自信と誇りをより高められるよう、みんなとともに歩めればと思います。ぜひご参加くださいますよう、お願いします。

2022年度世話人：岡本玲子・蔭山正子・小出恵子・田中美帆（大阪大学）、岩本里織（神戸市看護大学）、塩見美抄（京都大学）、草野恵美子（大阪医科薬科大学）、合田加代子・聲高英代（甲南女子大学）、大阪大学大学院 公衆衛生看護学教室

COMING SOON!

第23回 2022年11月19日(土) 13:30-15:00 (オンライン開催)

「コロナ禍での“攻め”のフレイル予防ワザ」 乞うご期待！

回	月日・テーマ	講師	所属	保健師やっぱりワザってる！	回	月日・テーマ	講師	所属	保健師やっぱりワザってる！
21	2022.05.14 最新知見をアップデートし続ける 新時代の保健師	高橋 勇太	横浜市担当係長 横浜市行動デザインチーム (YBIT) 代表 NPO法人PolicyGarage理事	人脈を大事に、ワークライフバランスのとれたパラレルキャリアを実現。最新知見をアップデートし続ける鍵は、情報の入手と社会への発信の双方向性！	10	2019.5.25 子育て世代包括支援センターにおける保健師の専門性と技	村上 麻貴 鍛冶 みか	和泉市生きがい健康部健康づくり推進室 総括主任 同上 総括主査	新しい枠組みの中で、元来、包括・継続支援を行う地区担を母子保健コーディネーターに。切れ目ない支援強化に向けて周産期ネットワーク部会を構築！
20	2022.2.19 公衆衛生看護学会学術集 会で得た学びを深めよう！～ナッジ理論・ACEs(逆境的小児期体験)・ミネソタモデル～	岡本 玲子、蔭山 正子、小出 恵子、院生(大阪大学) 他 研究会メンバー一同		すきっと保健師と合同開催！ 1月に開催された日本公衆衛生看護学会/国際保健師ネットワーク (GNPHN) 合同学術集会での学びを共有する場となりました！	9	2019.2.9 当事者性を活かす公衆衛生看護技術～精神障がい当事者のピア活動～	上坂 智洋子	洲本保健所健康管理課 担当課長補佐	精神障がい当事者と運命共同体となって地域を変えた。当事者の発想に刺激を受け、既存の枠を飛び越えた活動を展開。有名な当事者活動の裏にこの人あり！
19	2021.11.27 離島でのコロナ対応の 実際～そのとき管理者は？そして新人は？～	大場 裕子 規家 美咲	隠岐支庁隠岐保健所 地域健康増進課 課長 同上 保健師	コロナ禍で多忙な中でも確実な支援、誰一人取り残されない支援につなげるために島ならではの特徴や強みを活かし、常に住民に寄り添う姿勢を忘れない保健師のワザ☆	8	2018.11.17 保健師活動(知識・技術・魂)の伝承技	石川 節子 柳瀬 厚子	熊取町健康福祉部健康・いきいき高齢課熊取ふれあいセンター 公益財団法人兵庫県生きがい創造協会(前兵庫県理事)	町民の幸せを願い、みんなで創出してきた数々の住民主体の地域活動。地域愛に根ざした協働力は直に学んできた後輩保健師によって引き継がれていく。 地域の実態を掘り起こし、数々の公共政策を創出！信念と覚悟をもって取り組む姿勢と人材育成システムの整備によって成長した保健師は数知れない。
18	2021.9.4 コロナ禍の母子保健活動の実際	多田 由美子 萩原 雅子	玉野市健康増進課課長補佐 同上 健康推進係係長	コロナによって翻弄されつつも、スピード感を持って対応！母子に切れ目なく丁寧に関わり続ける変わらない保健師マインドとワザ🍀	7	2018.8.18 行政の支援が行き届きにくい方々への支援	原 政代 亀岡 照子	東京保健医療大学 和歌山看護学部 教授 前大阪市保健師	生活保護課の保健師活動の先駆けとして、他職種を尊重しながら、組織的を改革し、生活保護世帯の人々の生活と健康を護る仕組みを構築。 あいりん地域のすべての人々の支援に奮闘。関係機関との強いネットワークを基盤に、常に当事者目線で信頼関係をつくり、自律を支援。
17	2021.5.29 コロナ禍の保健師の奮闘！～みて・つないで・動かした実践を語る～	河西 あかね	東京都福祉保健局保健政策部・東京都多摩府中保健所地域保健推進担当課長	誰もが初体験のコロナ禍で、保健師の本分を医師はじめ住民や多職種の方々に理解してもらい実のある協働を展開！センスあふれる見える化と対話が圧巻！	6	2018.5.19 地域に潜む課題把握と活動創出の技術	有馬 和代 吉田 由佳	大阪市東淀川区役所地域包括ケア推進担当保健主幹 兵庫県養父市健康福祉部健康課保健師	すべての結核患者に尊厳ある治療・療養環境を！ホームレスの人々がおかれている状況に端を発し、人として生きることを丸ごと支援するDOTSを創始。 高齢者が笑って暮らせる地域に！現行の施策への疑問から、高齢者悉皆調査を経て、新たな介護予防事業を創出。その熱意と明るさに皆が惚れる。
16	2021.2.20 多機関・多組織との連携調整の技術～コロナ禍の経験も踏まえて～	山崎 初美	神戸市健康局担当部長・統括保健師	統括保健師として保健師間・多職種間で円滑な人間関係を構築しつつ、門的判断と経験知を活かした柔軟な連携技術で新型コロナウイルス感染症に立ち向かう	5	2018.2.17 時代の変化に応じるスクラップ&ビルド	岩知道 望 佐原 直美	岡山県津山市子ども保健部こども子育て相談室主任保健師 静岡県磐田市健康増進課 課長	ハイリスク母子対象のクローズド事業をスクラップ。何が大事か、保健師間で意見交換を重ね、地域ですべての親子が育ち合う、交流ベースの事業に転換！ 保健活動の根幹である地域づくりの推進へ。確固たる意志で保健師組織を業務分担から地区分担へ。事務職と協働した全庁的な体制変換のスクゴワザ
15	2020.11.21 地域の強みを高める保健師のスクゴワザ発信伝！	岡本 玲子(大阪大学) 他 研究会メンバー一同		ワザケンで聴いた多くの語りから「地域の強みを高める公衆衛生看護技術」をまとめ書籍にしました！保健師のスクゴワザを共有し、自信と誇りにしましょう！ YouTubeに公開しました！ぜひご覧ください！ https://www.youtube.com/channel/UCai7gDFCFmeBI5-HlQOeAuQ	4	2017.11.18 地域に入り人々を動かす公衆衛生看護技術	梶山 直美 小路 浩子	大阪府看護協会 労働環境支援部 部長 前堺市参事 神戸女子大学看護学部講師 前忠岡町保健師	経験を重ねながら行政保健師の使命を感知し、確固たる姿勢で住民の尊厳を守る、みる、つなぐ、うごかすのスクゴワザ。全庁的なマネジメント術も圧巻！ 障害があっても、場が人をつなぎ元気になれる！どんな人も決して見捨てず、保健師が社会との接点として存在する！それは保健師だから成せるワザ
14	2020.9.27 阪神淡路大震災時の活動に学ぶ保健師の健康危機管理の原点	中野 則子	前兵庫県看護協会会長 元兵庫県保健師	未曾有の大災害に「住民の生命と生活を護る」信念のもと、人々の声を聴き、実態を可視化し、中長期的施策に活かす、迅速かつブレない統括保健師のワザ	3	2017.8.19 行政の隙間を埋める起業保健師の公衆衛生看護技術	北原 慶作 二宮 佐和子	合同会社WNライフ・ながの 代表 非営利特定法人コミュニティ・ケア・ネットいずみ 副代表理事	行政保健師の支援から埋もれた人々を、常に対象者目線で、枠に捉われない支援。開業保健師としての活動は、保健師の新たな働き方の可能性が！ 行政保健師として培った知と技術と魂を地域全体のケア水準の向上に活かすべく一念発起して起業。自らのワザを惜しみなく全国発信・伝承しています！
13	2020.2.15 本庁・企画部門で発揮される施策化のワザ～一人ひとりを大事にすることの結実として～	山野井 尚美	岡山県保健福祉部健康推進課 課長・全国保健師長会会長	新人時代から積み重ねてきた人とのつながりと個別支援が活かされて、本庁や企画部門での様々な事業や体制づくりを実現。基本は個別支援にある！	2	2017.5.20 地域の人々の健康づくりを推進する公衆衛生看護技術	福永 淑江 新家 静	大阪市港区役所保健福祉部 係長 高槻市保健師前奈良市健康増進課	ピン！ときて高知市から島本町、島本町から大阪市へ輸入した「いきいき百歳体操」。絶対大事の一念で、ぶれずに推進、下支え！今も成果を上げてます。 感受性と使命感を育ててもらった新任期、大学院で目からウロコの理論活用、CHSのスキルで皆と協働し段階的に難病患者の支援体制を整えました！
12	2019.11.16 時代の変化に応じるスクラップ&ビルドの活動	近藤 康子	高槻市健康福祉部保健所保健予防課 副主幹	生活習慣病を重症化させない！家庭訪問の実態を大事に展開しようとチームで共有。優先度の高い健康課題に絞り、予算を抑えて効率化した事業に転換	1	2017.2.18 地域の強みを高める公衆衛生看護技術	川口 真由美 山口 世志子	高石市保健福祉部地域包括ケア推進課課長代理 岸和田保健所 地域保健課 班長	住民主体のコミュニティカフェの波及を目指し皆のやる気スイッチを次々にonにするスクゴワザ。人材活用術にもゾッコン！ 在宅医療移行の必要な子どもと家族を支えるチーム医療連携の基盤を整えるスクゴワザ。連携シートは他地域にも普及！
11	2019.8.25 日本で子どもを産み育てる外国人家族を支えるワザ	安岡 香織 市川 智子	堺市南保健センター主幹 堺市南保健センター係長	増えて行く外国人への対応に、住民はみな同じサービスの質を！の精神で、若手の力も活かして予算ゲットし言語障壁なくす媒体・体制整えた。文化や価値観みんな違ってもみんないい、外国人もコミュニティの一員に！をめざして、保健師一丸となって、集いの場を構築、これからも資源駆使して支えてく！					